

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1202015

政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	B	
単位施策	1 推進体制の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	社会体育団体活動費助成事業	見直し年度	平成24年度	
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	団体数		#N/A	
事業目標	体育連盟～16 スポーツ少年団～4	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	1 スポーツ団体の加入・育成	関係例規・法令名		
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容
計	体育連盟・スポーツ少年団の育成、活動支援に努めるとともに自主的、主体的な活動を促す。	体育連盟・スポーツ少年団への活動費助成	体育連盟・スポーツ少年団への活動費助成	体育連盟・スポーツ少年団への活動費助成	体育連盟・スポーツ少年団への活動費助成	体育連盟・スポーツ少年団への活動費助成
画	体育連盟・スポーツ少年団への活動費助成					
内						
容						
計	事業費(千円)	2,700	540	540	540	540
画	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	2,700	540	540	540	540
実	事業費(千円)	2,700	540	540	540	540
績	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	2,700	540	540	540	540
関	(特定財源の詳細等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
連	【評価・実績】	体育連盟 400千円 少年団 140千円	体育連盟 400千円 少年団 140千円	体育連盟 400千円 少年団 140千円	体育連盟 400千円 少年団 140千円	体育連盟 400千円 少年団 140千円
事		※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持
項	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値 20団体	年度目標値 20団体	年度目標値 20団体	年度目標値 20団体	年度目標値 20団体
		年度達成率 100%	年度達成率 100%	年度達成率 100%	年度達成率 100%	年度達成率 100%
		全体達成率 20%	全体達成率 40%	全体達成率 60%	全体達成率 80%	全体達成率 100%
		事業進捗状況 ☆☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆☆

事業名	社会体育団体活動費助成事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係主査	櫻井 輝久

平成24年度実施  
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	加盟団体の維持								
【抱える課題やニーズは】	町民のスポーツ離れ等による、加盟単位協会や会員の減少及び活動の低下。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町民の単位協会に対する理解を深め、加入を促進させるとともに、スポーツ活動への積極的な参加を目指す。	①	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>16団体</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>16団体</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	16団体	実績値	16団体	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	16団体										
実績値	16団体										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	指導者育成を行い、スポーツの普及を基に地域の活性化を図る。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>4団体</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>4団体</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	4団体	実績値	4団体	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	4団体										
実績値	4団体										
達成度	100.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	<table border="1"> <tr> <td>体育連盟、スポーツ少年団への助成</td> <td>予算・決算・実施事業等の実績報告書を求め、内容を精査し助成する。 (体育連盟400千円、スポーツ少年団140千円)</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	体育連盟、スポーツ少年団への助成	予算・決算・実施事業等の実績報告書を求め、内容を精査し助成する。 (体育連盟400千円、スポーツ少年団140千円)								
体育連盟、スポーツ少年団への助成	予算・決算・実施事業等の実績報告書を求め、内容を精査し助成する。 (体育連盟400千円、スポーツ少年団140千円)										

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	本町の生涯スポーツを推進する基幹団体であり、スポーツ活動を通じ町民の交流を深める役割を果たしている他、将来の指導者を育成することも目的としている。また、町の活性化にも繋がることから、これらの団体を育成・支援することが必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	各団体の単位協会加入者は減少傾向にあるものの、現在体育連盟535名、少年団97名(指導者を含む)が活動しており、町内外の各種大会参加に積極的に取り組んでいる。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	各団体の事業に対し、適切な活動費の助成を行っている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	実績報告書等を勘案し助成しており、また、各団体の事業については広く町民の参加を受け入れていることから、公平性は保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
本町のスポーツ活動の中心的役割を担っている団体への補助は、生涯スポーツを推進する上で重要である。		



継続/現状維持		
スポーツは、社会の活性化を促進させるとともに、人と人、地域間の交流を深める有効な手段である。また子どもにとり、協調性や競争意識などを養う学習の場でもあることから、今後もこれらの助成継続が必要である。		

※展開方向の区分  
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
終了 休止 廃止